

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

株式会社オンド 本社工場

(2) 事業所の所在地

広島県東広島市八本松飯田一丁目1番1号

(3) 業種

自動車部分品・附属品製造業 3113

(4) 事業所位置図
別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、令和6年（2024年度）を基準年度とし、令和7年度（2025年度）から令和11年度（2029年度）までの5年間とする。

3 計画の基本的な方向

【会社の環境方針】

【基本方針】

株式会社オンドは、自動車部品等の設計・開発・製造・出荷及び排出物の最終処分に関わる全ての企業活動において、自然との調和を図りながら、地球環境の保護と豊かな社会づくりに貢献します。
このため次の行動指針を定めます。

【行動指針】

- (1) 私たちは、環境に関する法規制及び同意するその他の協定を順守するとともに、自己管理を徹底します。
- (2) 私たちは、企画一開発段階から生産・使用・廃棄に至るまで一貫して環境との調和を配慮した企業活動を推進します。
- (3) 私たちは、地球環境保全に貢献するため、廃棄物の削減、再利用、省資源、省エネルギー及びカーボンニュートラル(CO2排出量削減)を推進し、汚染の予防に努めます。
- (4) 私たちは、環境目的及び目標を設定し、定期的に見直しを行い、環境マネジメントシステムの継続的な改善を行います。
- (5) 私たちは、環境方針を職場に掲示すると共に、ポケットブックを全員に配布し、環境方針及び環境目的を理解させます。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	令和6（ 2024 ）年度	令和6（ 2024 ）年度
二酸化炭素	9,960	9,960

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成（ ）年度	令和（ ）年度
二酸化炭素		

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成（ ）年度	令和（ ）年度
メタン		
一酸化二窒素		
その他 温室効果 ガス 〔 HFC PFC SF ₆ NF ₃ 〕		

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂）、削減率（%）

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 () 年度)	削減目標		目標年度 (令和 () 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO ₂				0
非エネルギー起源CO ₂				0
メタン				0
一酸化二窒素				0
その他 温室効果ガス				0
温室効果ガス 実排出量総計				0
温室効果ガス みなし排出量		-		0
目標設定の考え方				

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

鋼材重量 千ton

単位：排出量(t-CO₂)、原単位置量（kg等）、削減率（%）

温室効果ガスの種類	基準年度 (令和6 (2024) 年度)			原単位 削減目標 削減率 (d)	目標年度 (令和11 (2029) 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)		排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂	9,960	27.5	362.4	5.0	9,991	29.0	344.5
非エネルギー起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
その他 温室効果ガス							
総排出量	9,960	27.5	362.4	5.0	9,991	29.0	344.5
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)	-	-	155.0	5.0	-	-	147.3
目標設定の考え方	1年間の削減率1%を目標に、5年間で削減率5%を目標とする。						

※ 削減率(d) = { (c) - (g) } / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置及び目標並びに具体的な取組

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1	エネルギー使用の合理化	年間のエネルギー消費原単位 1%削減	・ 高効率設備の導入 ・ コンプレッサーの最適稼働 ・ 照明のLED化
2			
3			
4			

※ 「原単位」で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること。

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合 計 量
1		
2		
3		

○ その他の取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

環境管理責任者を中心として、毎年温室効果ガス削減計画の取組み状況を把握、点検及び問題点の検討を行い、環境委員会において、定期的に評価を行い継続的な向上を図る。

(3) 計画書等の公表

- ・会社ホームページにて環境に関する「基本方針・行動指針」を公表。
- ・年度初めに、全部門に環境目標を展開。

